

梅雨期・台風期の災害に備えましょう

例年、梅雨期及び台風期においては、全国各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、多数の人的被害及び住家被害が発生しています。

事前の確認

皆さんの身の回りの場所に危険な場所はありませんか。
あらかじめ、災害の危険がある所をチェックしておくことが大切です。

ハザードマップ等で確認しましょう。

大雨による災害から身を守るには

海や川には絶対に近づかない

大雨や高潮、高波により急に浸水することがあるので、海や川には絶対に近づかないようにしましょう。

アンダーパスは通らない

アンダーパス(交差する路などの下を通り、周辺の道路より高さが低くなっている道路)は、水に浸かっている危険があるので注意しましょう。

水に浸かっている道路は注意

水に浸かっている道路は、マンホールや側溝のふたが外れていても見えず、転落する可能性があるので注意しましょう。

やむをえず水に浸かっている道路を歩く場合は、傘などで足元を確かめながら進みましょう。



気象情報や避難情報などを入手しましょう

日頃から気象情報や避難情報を入手できるようにしておきましょう。
テレビやラジオ、市・町の防災情報などから、最新の情報を入手しましょう。

「ひょうご防災ネット」に登録すると、兵庫県や市・町が出す緊急情報のほか、地震や津波、気象警報等のメールなどが携帯電話に送られてきます。

※ 登録は無料ですが、通信料はかかります。



メール

ひょうご防災ネット <http://bosai.net/>



アプリ

ひょうご防災

検索

